

2024年1月31日

報道関係者各位

東和薬品株式会社

ペムトレキセド点滴静注液 100mg/500mg「トーフ」の 「効能又は効果」「用法及び用量」追加承認取得のお知らせ

東和薬品株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長：吉田逸郎）は、ペムトレキセド点滴静注液 100mg/500mg「トーフ」（製造販売元：富士フイルム富山化学株式会社、発売：東和薬品株式会社）の「効能又は効果」「用法及び用量」の追加が、本日 1月 31 日付で承認されたことをご知らせいたします。

《追加内容》

ペムトレキセド点滴静注液 100mg/500mg「トーフ」

効能又は効果 (下線部追記)	<ul style="list-style-type: none">○悪性胸膜中皮腫○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌○扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法
用法及び用量 (下線部追記)	<p>1.悪性胸膜中皮腫 シスプラチンとの併用において、通常、成人にはペムトレキセドとして、1日1回 500mg/m²（体表面積）を10分間かけて点滴静注し、少なくとも20日間休薬する。これを1コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <p>2.切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 通常、成人にはペムトレキセドとして、1日1回 500mg/m²（体表面積）を10分間かけて点滴静注し、少なくとも20日間休薬する。これを1コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <p>3.扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法 <u>ニボルマブ（遺伝子組換え）及び白金系抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはペムトレキセドとして、1日1回 500mg/m²（体表面積）を10分間かけて点滴静注し、少なくとも20日間休薬する。これを1コースとし、3コースまで投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</u></p>

以上

＜お問い合わせ先＞

東和薬品株式会社 広報・IR部

〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号

TEL: 06-6900-9102 / FAX: 06-7177-4960 E-mail: kouhou@towayakuhin.co.jp